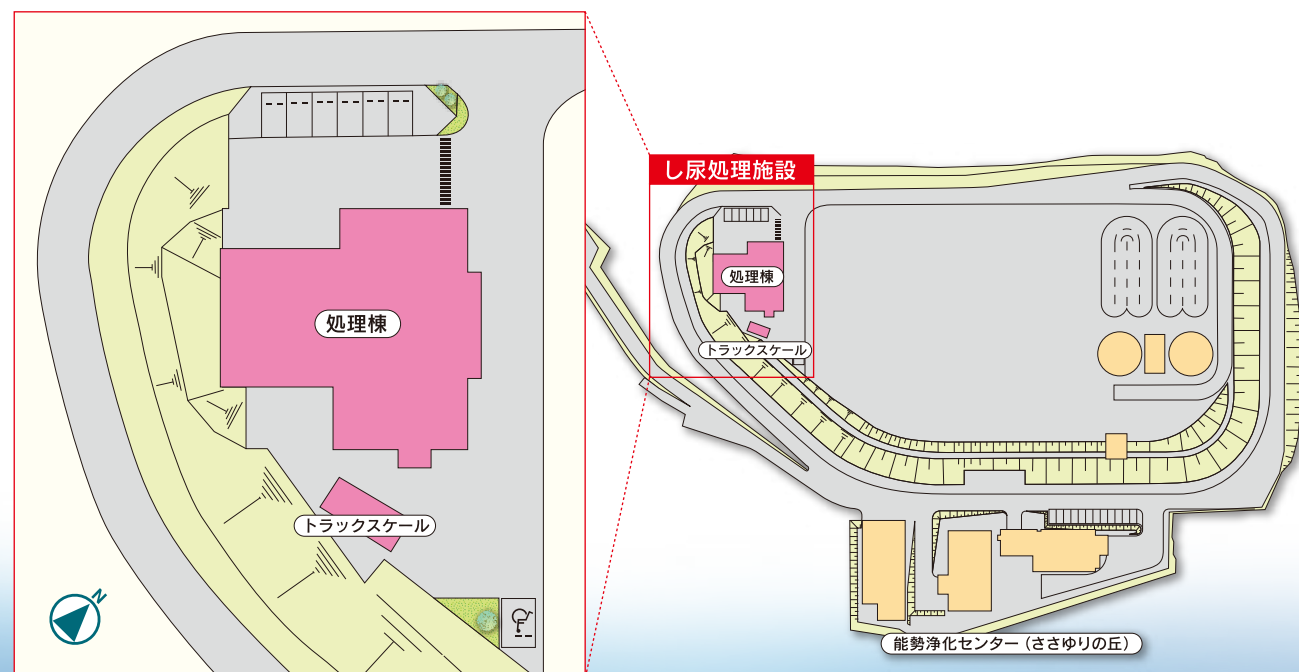


能勢町し尿処理施設

施設外観



施設配置図



施設の特徴

高度処理による安定したきれいな処理水質

膜分離高負荷脱窒素処理方式を採用し、さらに活性炭吸着による高度処理後、紫外線消毒を行っています。

臭気対策も万全

メンテナンスフリーの生物脱臭塔および高効率の薬品洗浄方式と活性炭吸着方式を組み合わせた脱臭システムの採用により、臭気対策も十分です。

中央集中監視による運転管理

効率的で安定的な施設管理を行うため、各機器は自動制御されており、運転データは自動で収集・記録します。運転データは中央監視室に集約され、日々の運転管理に活用しています。

人にやさしい施設

作業環境の快適性はもとより、来所者に対してもやさしさを配慮した施設です。

環境に配慮した設備

希釈水を必要としない方式のため、放流水が少なく環境への負荷を低減しています。

施設概要

- 事業主体：能勢町
- 施設名称：能勢町し尿処理施設
- 所在地：大阪府豊能郡能勢町下田119-31
- 処理方式：膜分離高負荷脱窒素処理方式(IZX)+高度処理設備
- 処理能力：21kl/日
 - し尿 12kl/日
 - 浄化槽汚泥 9kl/日
- 敷地面積：5,787.11m²
- 建築面積：511.26m²
- 延床面積：1,118.79m²
- 工期：平成22年3月2日～平成24年3月15日

し尿処理システムの概要

IZXシステムは、単一槽における高負荷・無希釈での生物処理と、膜による固液分離を組み合わせた処理方式で、多くの実績と高い信頼性を有しています。また、通常の脱水方法では汚泥含水率が83～85%程度ですが、スーパーフレークは直流電流により汚泥と水を分離し、汚泥含水率70%以下という低含水率を実現します。脱水に必要な薬品類や脱水汚泥の発生量を大幅に減量できます。

放流水質

pH		5.8～8.6
BOD		5mg/ℓ以下
COD		10mg/ℓ以下
SS		5mg/ℓ以下
T-N		10mg/ℓ以下
T-P		1mg/ℓ以下
色度		30度以下
大腸菌群数		300個/cm ³ 以下



し尿
浄化槽汚泥



生物処理水



膜透過水



活性炭処理水

処理フローシート

